

近赤外線分光分析法によるCCA木材識別装置「ウツドスキャン」

概要・品質・性能

建築廃材の中からクロム(Cr)、銅(Cu)、ヒ素(As)などの人体に有害な物質を含むCCA木材を、近赤外線光を使用して非破壊で識別する装置。

波長750~1,000nmの近赤外光を使い、対象の廃木材に光センサーを当ててスイッチを押すと約3秒で有害物質の含有量を演算処理してデジタル表示する。危険な薬品やX線などを使用せず、0.6Wの小パワー測定ができ、小型で現場使用が可能。

解体廃木材には、建材当初に防虫・防腐目的でCCA酸化物を塗布・含浸した木材があるが、現行の建設リサイクル法は、かかる有害物資を含む木材の再資源化を規制しており、廃木材のリサイクルを進めるためには、CCA木材等を分離・分別する必要がある。本体価格85万円/台



専用ケース

用途

- (1) 廃木材の有害物処理木材 (CCA木材) の分離・分別用識別装置
- (2) 解体現場、廃棄物処理場での使用

技術移転

- (1) 形態 製品・部品の供給
- (2) 相手先 環境・リサイクル業、木質バイオマス関係者
- (3) 地域 国内に限る

実用化・情報

- [試作・実験] 完了
 [製造・販売実績] 有り
 [技術情報の提供] 技術資料、パンフレット、特許公報等、サンプル、その他(デモ用装置)
 [情報提供者] ハイウッド(株)
 担当者 代表取締役 安藤 則男
 [連絡先] (財)りそな中小企業振興財団 事務局
 TEL.03-3444-9541 FAX.03-3444-9546

特許等

- 特許番号：第3739086号
 登録日：平成17年11月11日
 特許権者：ハイウッド(株)
 (株)アールテック